科目名		内科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

何らかの内科疾患を有する人は多く、また高齢になるにつれ複数の疾患を有する人も多い。リハビリテーションを実施する上で内科学の知識はリスク管理にもつながり、対象者を総合的に診る力となる。疾患の病態や特徴を理解することを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

テキストを基に講義を中心に展開。基礎医学との関連を確認・理解しながら応用的な視点を習得する。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

基礎医学と疾患の関連性について説明することができる。

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	循環器系の基礎
3	呼吸器系の基礎
4	循環器疾患Ⅰ
5	循環器疾患Ⅱ
6	循環器疾患Ⅲ
7	呼吸器疾患Ⅰ
8	呼吸器疾患Ⅱ
9	呼吸器疾患Ⅲ
10	消化器疾患
11	代謝・内分泌疾患
12	泌尿器系の基礎
13	泌尿器疾患
14	特定疾患等
15	まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第5版	奈良 勲	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

小テスト10点（毎時間10分程度の小テストを10点満点で実施した平均点）と履修規定に準じた試験90点を足して100点満点として60点以上の場合に合格とする。